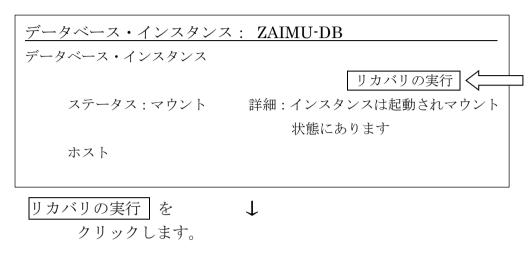
OEMからの RMAN によるリカバリ操作

※ データベースに障害が発生している場合に、EMDC ヘログインを行うと、以下のようなデータベースのステータス情報画面が、まず表示されます。

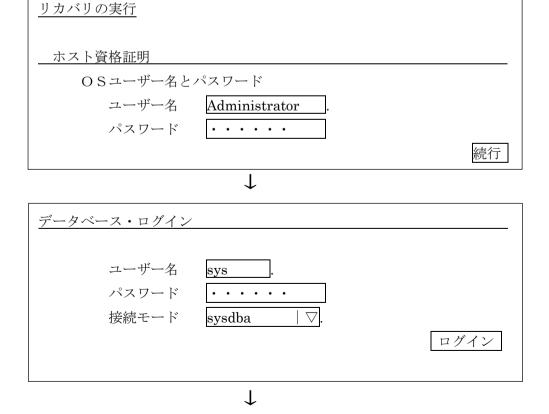


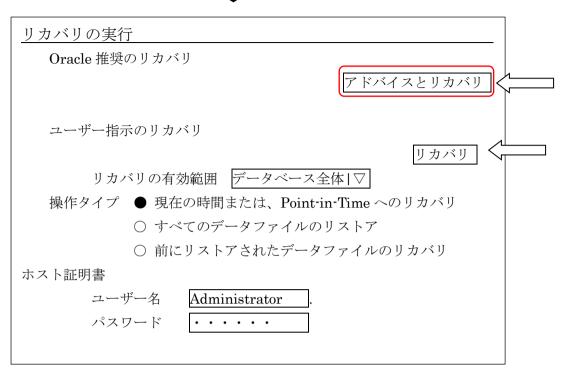
RMAN によるリカバリ操作を行うには、

OS ユーザーのデータベース管理者で、ORACLE_DBA のグループに属するユーザーで「バッチジョブとしてログイン」権限を持たせたユーザーを指定します

Windows の場合: Administrator

Linux の場合: Oracle をインストールしたユーザー (通常 Oracle)

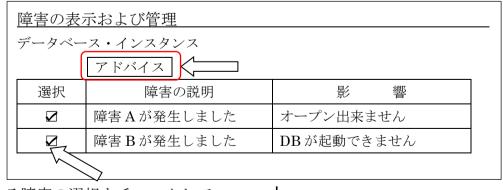




Oracle 推奨のリカバリを行う場合には、 アドバイスとリカバリ をクリックする ユーザー指示 (ファイル or 表領域の明示指定) のリカバリを行う場合には、 リカバリ をクリックする

リカバリのためのバックアップファイルは、フラシュバック・リカバリ・エリアに配置する。

アドバイスとリカバリをクリックした場合



 \downarrow

リカバリする障害の選択をチェックして アドバイス ボタンをクリックします

【RMAN バックアップ・カタログを使う場合の操作】

この画面にて、RMAN バックアップ・カタログがあるデータベースを指定する

障害の表示および管理		
データベース・インスタンス		
	アドバイス	
選択	障害の説明	影響
\square	障害Aが発生しました	オープン出来ません
	障害 B が発生しました	DBが起動できません
☑ リカバリ・カタログを使用 リカバリ・カタログ・データベース 未指定 <u>リカバリ・カタログ情報の編集</u>		
<u>リカバリ・カタログ情報の編集</u>		
ホスト		

